

## 2023 年度シニア自然大学校総合科そら組 ルールと会員の心得

2023年 3 月 31 日

1. 1年間の班編成や運営体制、基本的な運営方針は、年度初めのオリエンテーションの時間にみんなで共有化します。4月からすぐに活動に移れるよう、総会は3月最終の金曜日に開催します。
2. そら組の活動の基本は、みんなで企画し、協力して運営実施するところにあります。  
日々の活動は、企画会議で検討された案に基づいて、全体会で決定し、当番班が運営します。  
他の班はそれに協力します。  
一泊研修など、特別な活動は、班長会や、実行委員会形式で実施することがあります。  
通常活動以外に、「オプション活動」が有志によって随時、企画実施されることがあります。
3. 2016年度からスタートした運営会議という合議運営体制を設置し、皆さんで選出された幹事、副幹事、運営会議委員、班長会及び企画会議で活動を実施します。会の運営に当たっては、公平性、透明性、参画意識の醸成を尊重していきます。会員の皆さんは「連れて行ってもらうとか、ついていく」というような受け身姿勢の参加ではなく、主体的に参画するように心がけてください。
4. そら組の活動に当たって、班長については原則として、そら組入会 3 年目以降の人を各班で話し合っ  
て選出します。また副班長の一人には、経験者を加えてサポート体制を取ります。ただし、班長・副班長  
にのみ負担が集中しないように、班の中での役割を分担し、協力しあいましょう。
5. 毎活動日には、班長と副班長、担当委員による班長会議で、連絡事項の確認や、各種企画方針などの  
決定を行います。
6. 当番班は原則として下見を行います。特定の人に偏らないよう、班内で分担協力して実施してくだ  
さい。  
下見に伴う個人の交通費は上限を設けず実費支給とし、担当班合計を20,000円以内で調整してく  
ださい。大学校に提出する交通費明細書には、最寄り駅名と実額合計を記入します。  
また、NPO 活動障害保険の対象になるので、早めに幹事に下見予定を連絡してください。  
遠隔地など費用がかさむ場合は、補助の追加について事前に相談してください。
7. 2019年9月から「そら組全体メーリングリスト」(以下そら組 MLと略す)は、M list というシステムを  
利用して運営しています。そら組 ML についての理解を深め、個人メール(個人の出欠回答など)は、  
通常の1対1のメールを使用するなど、使いわけを心がけてください。またこのメールにそのまま返信を  
すると、そら組全員(発信者の自分も含めて)に、一斉同報されるので、気をつけてください。
8. 2016年12月から開設したそら組ホームページも活用していきます。そら組 ML で見落とした活動予  
定や活動報告は、ホームページでも確認できます。
9. 当番班では、案内文書は一応の目安として、3週間くらい前に、また、活動報告書は実施日から次週  
までの中で作成して、原則、班長からのそら組 ML で配信してください。また、いたずらに凝る必要は  
なく、せいぜい2ページまででまとめてください。  
なお、メール送受信の際に、そら組 ML で送信できないとか、添付ファイルを開けないケースが時々発  
生しています。これは、添付写真の多用などにより、ファイル容量が増えていることが大きな要因です  
ので、写真の圧縮などを行って、メール1件当たりの容量を5MB 以下にしてください。本文と添付を合  
わせたメールサイズが5MB を超えると、M list システムでは送信できませんのでご注意ください。
10. そら組は大所帯になりました。活動内容によりますが、大人数での観察や見学などが難しい場合は、  
企画段階で、全体を複数のグループに分けて行動するなどの工夫をしてください。

11. バス利用や入場料や食事代などで予約を要する活動の場合は、おおむね1週間前を超えてから、参加を取りやめる場合、キャンセル料を負担していただきます。このような費用が発生する企画(案内)書には、必ずキャンセル料について明示するようにしてください。
12. 今後もバス利用の機会が多いと思われますが、バス代が高騰しています。バス利用の際、当番班は人数把握に努め、そら組メンバーは、はっきり出欠の意向表明をしてください。  
バスが2台か、1台かで、また大型か、中型かで、チャーター料は大違いとなります。
13. シニア自然大学の小旗、ハンドマイクおよび救急バッグは、当日担当班が管理し、その日の解散時に次週当番班に引き継いでください。また各班の救急袋は各班で責任をもって管理してください。
14. 活動時には、必ず名札を付けてください。
15. そら組では、企画案内や活動報告など、みんなで共有すべき情報の交換にそら組 ML を利用します。これはそら組メンバーだけが共有する貴重なツールです。(上述7項参照)  
このそら組 ML 及びホームページは、各々の担当者や運営委員が管理維持にあたります。個人のアドレス変更があった方は、速やかに連絡してください。個人ではそら組 ML の登録抹消や変更の作業はできません。また登録アドレス以外でのそら組 ML の利用もできません。  
このほか、OneDrive,DropBox,GoogleDrive などのクラウドについても適宜対策していきます。これらは大量のデータでも、個々の PC に負担をかけなくて活用できるものです。
16. パソコンやスマートホンのメールアドレスを持っていない人との班内での各種連絡は、漏れが発生しないように、各班ごとに方法を決めて実施してください。(電話や Fax など)
17. メールについては、そら組 ML に限らず、少なくとも1日に1回は開くようにしてください。貴重な情報の確認を漏らすことになりかねません。
18. 班編成後、メンバー表がおくられてきますが、メールアドレスを含めて、個人情報に記載されているので、取り扱いには十分注意しましょう。
19. そら組は言うまでもなく自然大好き人間の集まりです。毎回の活動では安全第一に心がけ、楽しく過ごせるように心がけましょう。  
経験も好みも異なるシニア男女の集団ですから、多様性こそ、そら組であるという意識を持って、周りの人を特定の色に染めるような行動はお互いに慎みましょう。
20. 新入会員は、期末に実施される調査研究部門の研究活動発表会で、そら組を代表して担当することを心に留め置いてください。
21. そら組の活動は、NPO 活動保険の対象となるためには、原則として、「自然と仲間」の研究部ニュースに記載されていることが必要です。(会員ガイド保存版31 4ページ参照)

以上